

## 平成20年度 第1回

# 発注企業生産現況調査報告書

### 【概要】

- ・全業種の生産動向(B. S. I値)は、2四半期連続でマイナスゾーンで推移し、マイナス幅も拡大
- ・全業種の生産見通し(B. S. I値)は、プラスゾーンに転じる見込み。
- ・外注依存度は増加し、約8割を占める。
- ・新規発注企業数、案件数:21社、25件

財団法人神奈川産業振興センター

# 目 次

1	調 査 概 要	
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象	1
	(3) 調査期間	1
	(4) 調査方法	1
	(5) 回収状況	1
	① 回答企業数	1
	② 回答企業の概要	1
2	調 査 結 果	
	(1) 生産現況と生産見通し	2
	(2) 外注利用状況	3
	① 外注依存度	3
	② 外注依存度の変化	3
	③ 現在の下請企業数と地域	4
	④ 外注加工内容	5
	(3) 今後の外注方針	6
	(4) 外注先を探す手段	6
	(5) 外注先の選定基準	7

## 1. 調査概要

- (1) 調査目的 県内発注企業の生産現況と今後の見通し等を把握するとともに、県内下請中小企業の受注機会拡大を図るための資料とする為
- (2) 調査対象 (財)神奈川産業振興センターのデータベースより抽出した、資本金 3,000万円以上の県内発注企業
- (3) 調査期間 平成 20 年 6 月
- (4) 調査方法 別添調査用紙によるアンケート方式
- (5) 回収状況

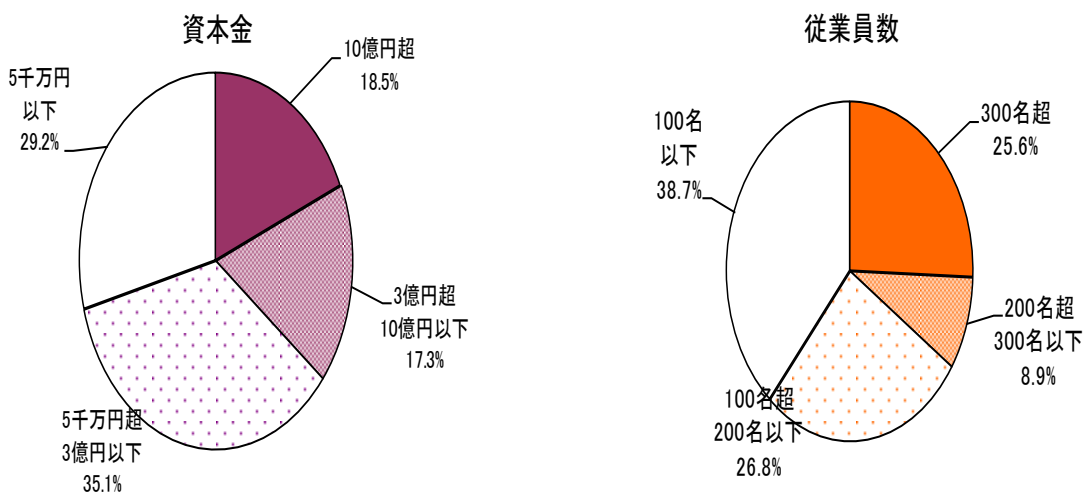
### ① 回答企業数

調査対象企業数	回答企業数	回答率
500 社	168 社	33.6%

### ② 回答企業の概要（集計表 1）

回答企業 168 社の資本金別内訳は、「5,000 万円超 3 億円以下」が最も多く 59 社 (35.1%)、「5,000 万円以下」が 49 社 (29.2%)、「10 億円超」が 31 社 (18.5%) で続き、「3 億円超 10 億円以下」が 29 社 (17.3%) となっている。

従業員別では、「100 名以下」が 65 社 (38.7%) で、以下「100 名超 200 名以下」が 45 社 (26.8%)、「300 名超」が 43 社 (25.6%)、「200 名超 300 名以下」が 15 社 (8.9%) となっている。

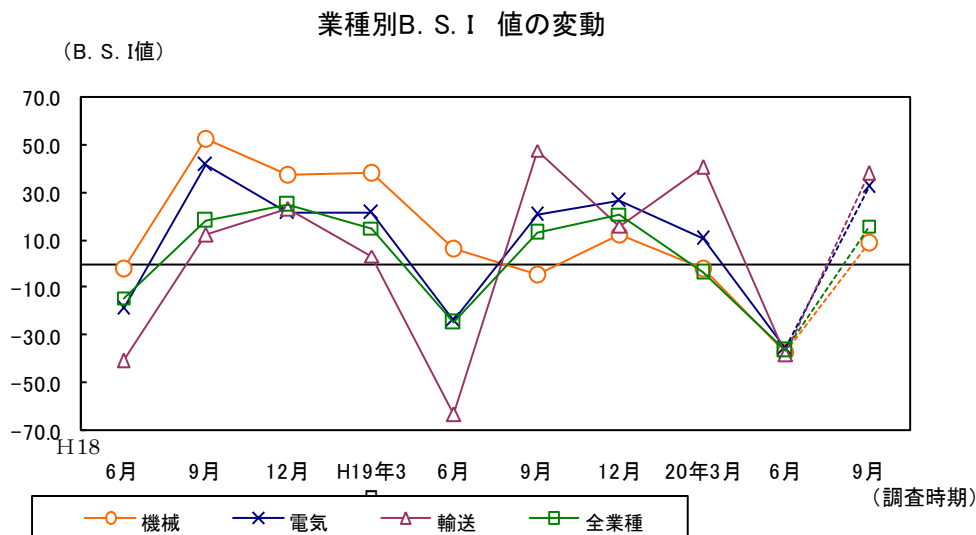


集計表 1

## 2. 調査結果

### (1) 生産現況と生産見通し (集計表 2)

下図は、四半期ごとに実施している生産状況調査結果を景況判断指数である B. S. I 値に置き換え、2 年間 (平成 18 年 6 月～20 年 9 月) の推移を対象企業全体と本県の基幹産業である「機械」、「電気」、「輸送」の 3 業種についてグラフ化したものである。



集計表 2

#### B. S. I 値 (ビジネス・サーベイ・インデックス) = 上昇企業数割合 - 下降企業数割合

B. S. I 値は、上昇・下降などの変化方向別回答企業数の構成比から全体の情勢を判断するもので、例えば B. S. I 値が下から上に向かって 0 線を横切る時は、マイナスゾーンからプラスゾーンへの移行を意味し、これから上昇過程に入ると見る。

#### 【B. S. I 値による生産動向・見通し】

20 年 6 月期の生産動向 (B. S. I 値) は、前回調査 (20 年 3 月期) と比較して、マイナスゾーンの業種が増え、全業種のマイナス幅も拡大した。

神奈川県の本県基幹産業である「機械」「電気」「輸送」の 3 業種をみると、前回調査 (20 年 3 月期) では、「電気」「輸送」がプラスゾーンであったが、今回調査では 3 業種ともマイナスゾーンに転じた。

3 ヶ月先 (20 年 9 月期) の生産見通し (B. S. I 値) は、「鉄鋼」「その他」を除いた 7 業種がプラスゾーンに転じるとしている。

調査時期 \ 業種	鉄鋼	非鉄	金属	機械	電気	輸送	精密	その他	全業種
19 年 6 月 期	-33.3	-20.0	0.0	6.4	-23.9	-63.3	-84.6	-27.6	-24.9
19 年 9 月 期	0.0	0.0	25.0	-4.4	20.9	48.1	7.7	-4.2	13.4
19 年 12 月 期	50.0	16.7	31.8	12.8	26.8	16.0	0.0	32.0	21.0
20 年 3 月 期	0.0	-50.0	-21.1	-2.1	10.8	40.9	-37.5	-19.2	-3.4
20 年 6 月 期	-50.0	0.0	-21.1	-37.0	-35.5	-38.1	-50.0	-48.0	-36.3
20 年 9 月 期 見 通 し	-50.0	50.0	10.5	8.7	32.3	38.1	28.6	-12.0	16.1

マイナス値

(2) 外注利用状況

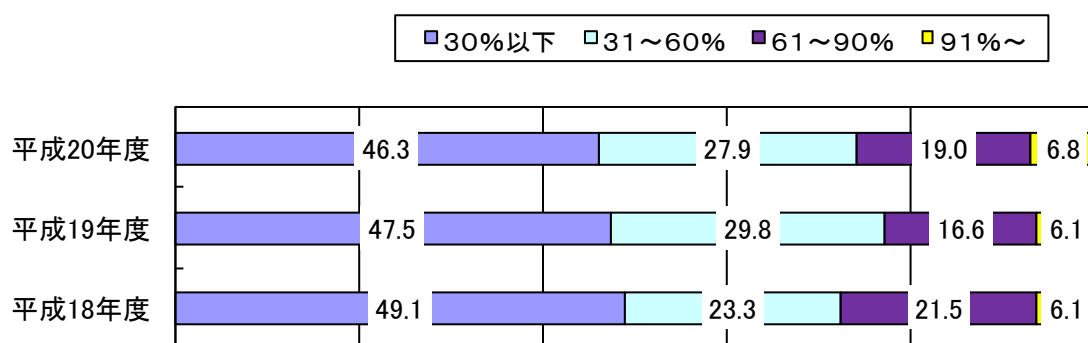
外注利用状況については、昨年度まで特に大きな変化が見られなかったが、昨年度後期以降各企業ともコスト・技術面等から外注利用の見直しの時期にあったためか、各数値に若干の変動が見られた。

①外注依存度（集計表3）

外注依存度について、「3割以下」、「3割超から6割」、「6割超から9割」、「9割超」に分けると以下のような結果である。昨年度同様、3割超利用している企業が半数を超しており、「6割超から9割」の企業が2.4%増加。「3割以下」の企業が1.2%減少した。

[\* 回答企業は168社。ただし、無記入項目がある場合は有効回答から除く。以下同じ]

外注依存度

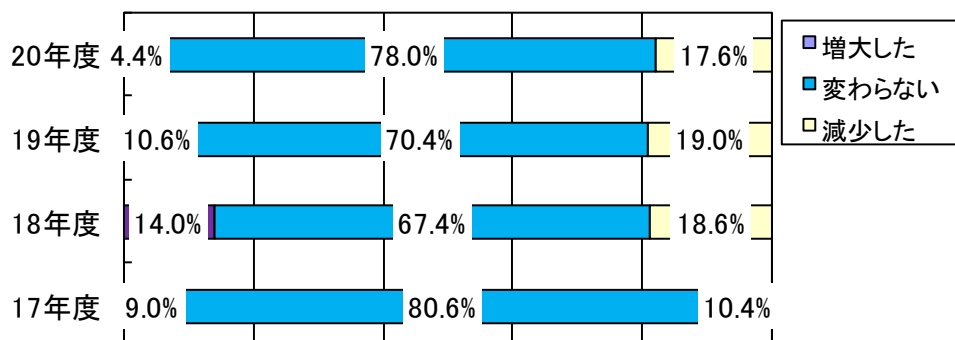


集計表3

②外注依存度の変化（集計表4）

外注依存度を昨年度と比較した場合に関する問いに対し、「変わらない」が最も多く全体の約8割を占めており、その比率は昨年度対比で7.6%増加している。また、「増大した」と答えた企業が6.2%減、「減少した」と答えた企業が1.4%減と数値が変動している。

外注依存度の変化割合



集計表4

③現在の下請企業数と地域（集計表5、6）

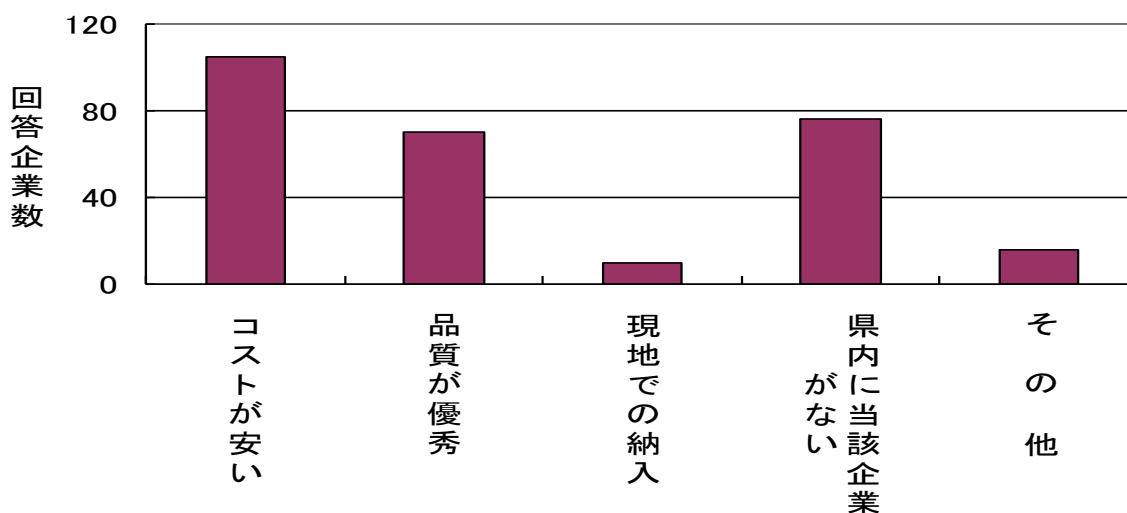
回答をいただいた企業が取引している下請企業数を合計すると13,004社となった。地域別に見ると、神奈川県内が5,899社、県外が6,864社、そして海外が241社となっている。

また、県外の外注企業を利用している場合、その主な理由についてたずねたところ（複数回答可）、105社が「コストが安い」を上げており、続いて「県内に当該の加工企業がない（少ない）」（76社）、「品質が優れている」（70社）となっている。「その他」としては、生産拠点・体制の変動等に伴う利用外注先の集約、従来からの取引先や関連会社であることや、発注企業の指定会社であるため等の理由が挙げられていた。

業種	地域内訳	県内	県外	海外	合計
	回答企業数				
鉄鋼	4	99	67	0	166
非鉄	7	90	124	5	219
金属	17	231	497	2	730
機械	44	1,805	2,603	109	4,517
電気	28	1,079	1,488	30	2,597
輸送	19	890	668	12	1,570
精密	12	1,030	409	12	1,451
その他	24	675	1,008	71	1,754
合計	155	5,899	6,864	241	13,004

集計表5

県外の外注企業を利用する理由

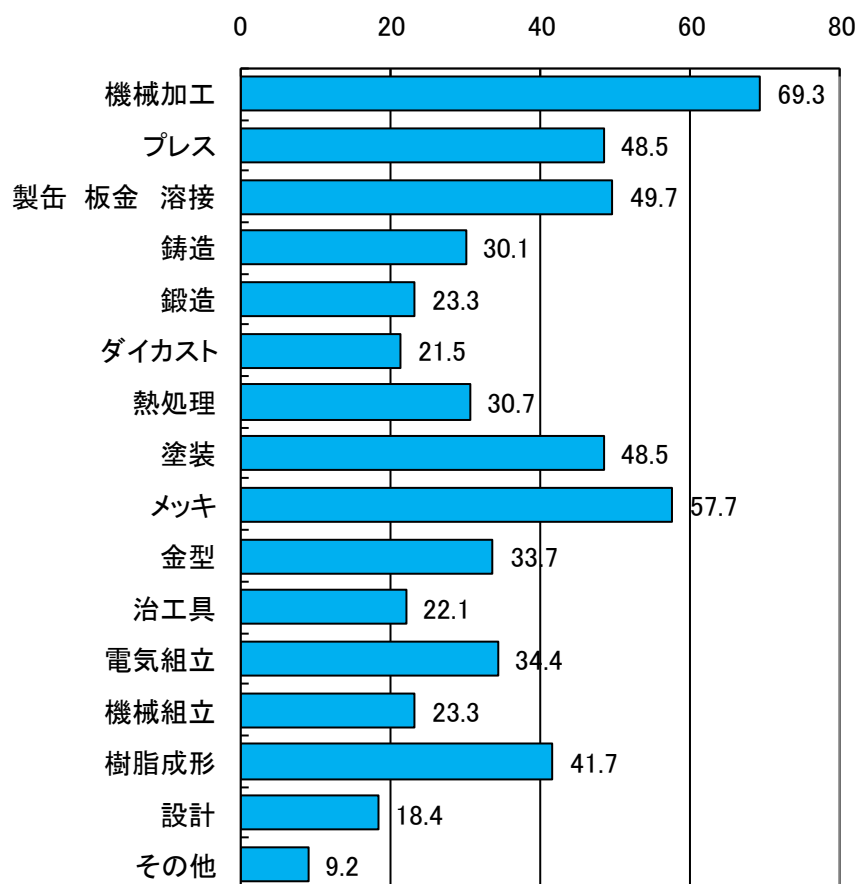


集計表6

④外注加工内容（集計表7）〔複数回答〕

回答企業 163 社が、現在下請企業に対して外注している加工内容は、「機械加工」が最も多く 69.3%、以下「メッキ」が 57.7%、「製缶・板金・溶接」が 49.7%、「プレス」「塗装」が 48.5%と続いている。

外注加工の割合(%)



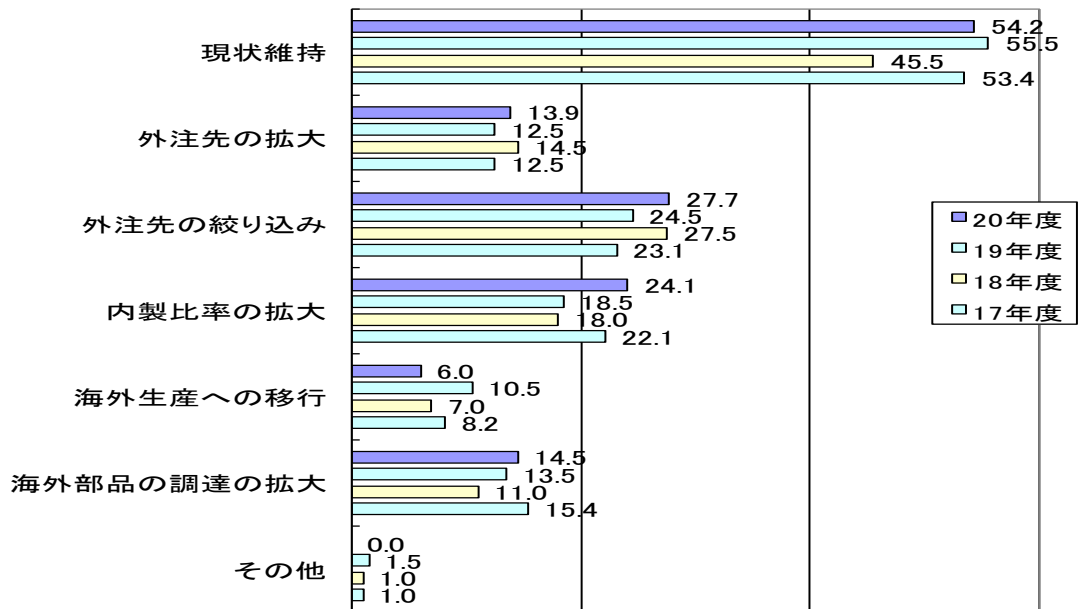
集計表 7

(3) 今後の外注方針 (集計表8) [複数回答]

昨年度半数以上の回答であった「現状維持」は、今年度 1.3%の減少となった。また、「外注先の絞り込み」が 3.2%の増加、「内製比率の拡大」が 5.6%の増加となった。

その他「海外生産への移行」が 4.5%の減少、「海外部品の調達拡大」が 1.0%の増加を示している。

今後の外注方針



集計表 8

(4) 外注先を探す手段 (集計表9)

新たな外注先を探す手段としては、「取引先等関係者からの紹介」が 134 件と最も多かった。次に「ネットでの情報収集」が 93 件、「下請企業からの売り込み」が 73 件との回答であった。昨年度と比較すると、「ネットでの情報収集」による新規開拓の割合が大幅に増加している。

	当センターからの紹介	当センター主催の商談会	下請企業からの売り込み	取引先等関係者からの紹介	展示会・本市等	業界誌・専門誌等	自社HPでの公募	ネットでの情報収集	その他	合計
第1順位	15	8	17	94	9	1	1	15	0	160
第2順位	8	13	32	28	18	6	5	37	2	149
第3順位	14	9	24	12	12	12	0	41	1	125
合計	37	30	73	134	39	19	6	93	3	434

集計表 9

(5) 外注先の選定基準（集計表10）

選定基準の第一順位に最も多く回答があったのは「品質保証」で、そのあとは「コスト対応力」「技術力」と続いている。各項目の第1順位から第3順位を総合した場合は「コスト対応力」「品質保証」「短納期」の順となった。その他ここ数年、第3順位に「小ロット発注への対応」の回答が数多く寄せられているのも特徴的である。

	品質保証体制	コスト対応力	短納期	技術力	左記の項目以	合計
第1順位	71	56	3	14	13	157
第2順位	33	69	24	16	14	156
第3順位	12	16	55	20	43	146
合計	116	141	82	50	70	459

集計表10